



JAR.



▲ GI昇格後初の王者となったのは、1番人気のキタサンブラックだった。

盤石の走りで初代王者に輝く

古馬中長距離路線の本格的な幕開けを飾る戦いとして、第61回を迎える2017年からGIレースへと昇格した大阪杯。その記念すべき年に初代王者の座に就くのはどの馬か、多くのファンの耳目を集めた。

1番人気に推されたのは、前年のJRA賞年度代表馬に輝いたキタサンブラック。前走の有馬記念ではサトノダイヤモンドに僅差で敗れはしたが、



▲ 2番手のキタサンブラック(帽色・青・左)は余裕の手応えで直線へ。

「ことしは出るレースぜんぶ勝つつもりでさらに鍛えてきました」という清水久詞調教師の言葉のとおり、春の中長距離GI全勝を目指して3か月の休養期間にもトレーニングを怠らず、万全の態勢を整えた。

2番人気は前年のダービー馬、マカヒキ。3番人気には、前年暮れに香港ヴァーズでGIウイナーの仲間入りを果たしたサトノクラウンが続いた。

レースは予想どおりマルターズアポジーが積極的に引っ張り、ロードヴァンドールが2番手。キタサンブラックは3~4番手をサクラアンプルールと並んで進み、サトノクラウンがその直後を追走。マカヒキは後方馬群で脚をためて直線勝負に賭ける作戦に出た。

前半1000mの通過が59秒6と、レースが平均ペースで進むなか、3コーナー付近で単独3番手に上がったキタサンブラックは、4コーナーでさらに2番手まで位置を押し上げた。そして、直線へ向いてからのレース運びはまさに圧巻だった。抵抗するマルターズアポジーを余裕十分の手応えで交わして先頭に立つと後続をスッと引き離し、キタサンブラックをマークする位置から追撃したステファノス、後方から差を詰めてきたヤマカツエースをきっちりと抑えて、王者はファンの熱い支持に応える完勝を収めたのだった。なお、上位人気に推されたマカヒキ、サトノクラウンは最後に脚を伸ばしたもののが追い込みおよばず、それぞれ4、6着に終わった。

レース後、武豊騎手は「馬は本当にいい状態で、さらに強くなっていると思いました」と愛馬を絶賛。2017年も“現役最強馬”的評価に恥じぬ好スタートを切ったキタサンブラックは、さらに磨きがかかった隨一の能力をもって、連覇がかかる天皇賞(春)へと駒を進めていくことになる。

第61回大阪杯(GI)										
	着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム	着差	人気	通過順位
1	1	キタサンブラック	牡5	57	武 豊	清水 久詞	1:58.9	①	4 3 3 2	
2	2	ステファノス	牡6	57	川田 将雅	藤原 英昭	3/4	⑦	5 5 4 4	
3	3	ヤマカツエース	牡5	57	池添 謙一	池添 兼雄	1/2	④	10 10 9 7	
4	4	マカヒキ	牡4	57	C. ルメール	友道 康夫	1 1/2	②	11 12 13 10	
5	5	アンビシャス	牡5	57	福永 祐一	音無 秀孝	アタマ	⑤	13 13 14 13	
6	6	サトノクラウン	牡5	57	M. デムーロ	堀 宣行	ハナ	③	5 5 6 5	
7	7	ミッキーロケット	牡4	57	和田 竜二	音無 秀孝	1/2	⑥	11 11 11 13	
8	8	モンドインテロ	牡5	57	内田 博幸	手塚 貴久	2 1/2	⑪	8 7 9 10	
9	9	アングライフェン	牡5	57	岩田 康誠	安田 隆行	1 1/4	⑯	14 14 11 10	
10	10	ディサイファ	牡8	57	四位 洋文	小島 太	1/2	⑬	7 7 8 7	
11	11	スズカデヴィアス	牡6	57	藤岡 佑介	橋田 満	1 1/2	⑫	8 7 6 5	
12	12	マルターズアポジー	牡5	57	武士沢友治	堀井 雅広	1/2	⑧	1 1 1 1	
13	13	サクラアンプルール	牡6	57	横山 典弘	金成 貴史	3	⑨	3 3 5 7	
14	14	ロードヴァンドール	牡4	57	太宰 啓介	昆 貴	3	⑩	2 2 2 2	

単勝 ⑤240円、複勝 ⑤110円、④280円、⑩280円、枠連(3-4)2,130円
馬連 ④-⑤2,320円、馬単 ⑤-④3,390円、ワイド ④-⑤540円、⑤-⑩480円、④-⑩1,800円
3連複 ④-⑤-⑩4,830円、3連単 ⑤-④-⑩23,910円

ハロンタイム 12.3-11.1-12.1-12.1-12.2-11.8-11.7-11.6-12.0

通過タイム 600m 35.5-800m 47.6-1000m 59.6-1200m 1:11.8-1400m 1:23.6-1600m 1:35.3-1800m 1:46.9

優勝馬 キタサンブラック

2012.3.10生 父ブラックタイド 母シュガーハート 母の父サクラバクシンオー
日高・ヤナガワ牧場生産 馬主:(有)大野商事